

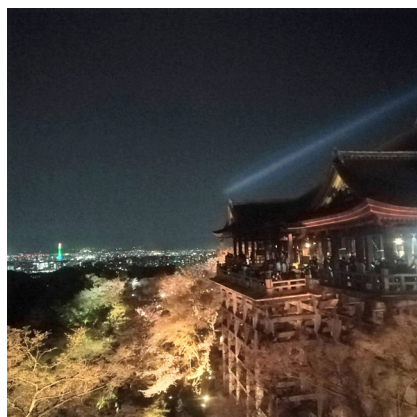
世界遺産アカデミー認定講師 File No.55

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当てて、お話を伺います。第55回は、京都と世界遺産の魅力を伝える活動に取り組んでいる青木 勝也 さんです。京都との出会いをきっかけに世界遺産に興味を持たれ学びを深めたエピソード、また、平和への願いを込めて、世界遺産を未来へ伝えていく想いを、熱く語っていただきました。

——世界遺産検定を目指したきっかけ

私は学生時代から京都に通い、現在も京都で働いているため、若い頃から京都は馴染み深い都市です。その京都が1994年に『古都京都の文化財』として世界遺産に登録されたことで、初めて世界遺産という存在を知りました。京都には数多くの寺社仏閣があるのはもちろんのこと、そこに暮らす人々の手で育まれてきた伝統的な生活文化が今も息づいています。京言葉は、そうした暮らしの中から生まれ、京都人が大切に守ってきた伝統行事は、現在も市内各地で日常的に行われています。有名なものでは、春の「葵祭」や夏の「祇園祭」でしょうか。葵祭は『源氏物語』にも登場し、平安時代には、「祭り」と言えば「葵祭」のことを指すほど、格式の高いものでした。祇園祭は、「山・鉾・屋台行事」のひとつとして、無形文化遺産に登録されています。こうした京都の社寺仏閣や伝統文化をより深く知りたいと考え、京都商工会議所主催の「京都・観光文化検定試験(京都検定)1級」に挑戦しました。京都検定1級はすべてが記述式で、論文問題も含まれる難関試験で、合格率は1割を切ります。もともと持っていた知識に加え、更なる知識欲を原動力に、何とか合格することができ、京都に関する理解もより深まりました。

『古都京都の文化財』は世界遺産のひとつですが、世界には1,200件以上もの世界遺産があります。世界遺産全体を俯瞰した時、『古都京都の文化財』はどのような位置づけなのか、他にどのような世界遺産があるのか——。そうした疑問や好奇心から私の心に火が付き、世界遺産検定を取得しました。おかげさまで、世界遺産検定2級、1級、マイスターと順調に合格することができ、世界遺



清水寺



祇園祭後祭の黒主山(くろぬしやま)

産アカデミー認定講師にも認定していただきました。今後は、京都検定1級と世界遺産検定マイスターで培った知識を活かして、京都だけでなく世界遺産の知識と魅力を多くの人に伝えていきたいと考えています。

——世界遺産登録され、残してほしい資産

世界遺産検定の学びを通じて、世界遺産が国際情勢と密接に関わっていることを実感しました。昨今、ロシア・ウクライナ戦争やイスラエルとパレスチナ・ガザ地区の衝突などの中で、多くの世界遺産が破壊される映像が報道され、嘆かわしく思いました。平和なくして遺産は守れません。争いを止め、協力し合うことが、世界遺産を守る第一歩です。

争いを阻止するためには、過去の争いの無惨さを振り返り、目に見えない記憶をも未来に残していく必要があります。そこで私は、「記憶の場」としての世界遺産をもっと増やすべきだと考えています。日本でその対象として相応しいのが、鹿児島県南九州市に在る開聞岳、知覧飛行場跡地、知覧特攻平和館などです。南九州市に2度訪れたことがあります。1度目は開聞岳登山が目的でした。開聞岳は日本百名山のひとつで、別名「薩摩富士」と呼ばれ、整った凜とした姿に感動し、写真を撮りながら、その美しさに魅了されました。2度目は知覧特攻平和館を訪問した時でした。展示されていたのは、出撃前の若い特攻隊員たちの写真や遺品、遺書など。死に



開聞岳

向かう若者たちの手紙には、家族への感謝、故郷への想い、国の行く末を案じる言葉が綴られていました。彼らは自らの死を、家族や国を守る行為だと、必死に自分を納得させようとしていたのかもしれません。また、特攻隊員たちは、出撃時に特攻機から開聞岳を仰ぎ見て、祖国の繁栄と家族の安寧を願いながら、山に向かって敬礼し、別れを告げていたと知りました。私はただ「インスタ映える山」だとか考えていなかった自分を、浅はかで情けなく思いました。開聞岳は、特攻に向かう若い特攻隊員にとって、守るべき祖国、家族の象徴そのものだったのです。その日以来、私の中で、その山の意味は大きく変わりました。過去には、同館で所蔵遺品や遺書など330点が、「知覧からの手紙」として「世界の記憶」への登録を目指したこともありましたが、中国や韓国から「特攻の美化に繋がる」との反発から、残念ながら見送られました。しかし、特攻に向かう若者たちの想いに触れて、戦争を賛美する人はいるはずがありません。同じ過ちを繰り返さないためにも、戦争の愚かさを正しく伝える意義をもって、再申請がなされるべきだと、強く感じます。そして、開聞岳と知覧特攻平和館を、「記憶の場」としての世界遺産に登録し、未来へ語り継ぐ、忘れてはならない平和の象徴として残していくことを、心から望みます。



平等院鳳凰堂